

北社市環境保全事業実施報告書

| | |
|---|--|
| 団 体 名 | 八ヶ岳猪鹿鳥 |
| 事 業 名 | 【森に学び森を守る！「八ヶ岳狩猟の学校」プロジェクト】 |
| <p>事業概要 ※実施内容、事業 期間等を記入し てください。</p> | <p>「八ヶ岳狩猟の学校」とは 狩猟の現場の実作業（ワナ掛け、解体、メンテナンス作 業等）を市民と協働することで、狩猟の意義と現実、森 の自然について学び、環境保全と環境教育の推進を図る 事業。</p> <p><事業の意義> 狩猟（有害鳥獣駆除）の安定化は、シカやイノシシの個 体数調整に寄与し、野生動物の食害から直接的に森を守 る環境保全につながる。 また、市民にはあまり接点のない「狩猟」のテーマは、 環境教育の場としても多くの可能性を持っている。 ①駆除個体の有効活用推進「ジビエ肉の利用＝食育・地 産地消」「角や皮の利用＝地域資源の掘り起こし」 ②狩猟への理解＝「森林生態系のバランスの理解」 ③狩猟の価値の理解＝「森を守る活動の促進、狩猟に関 わる次世代の人材育成。」</p> <p><取組内容> 「八ヶ岳狩猟の学校」として、近隣を中心とした市民 および親子向けに参加者を募り、体験事業を実施する。 【狩猟の現場体験】 ワナ猟を中心とした有害鳥獣の実作業（ワナ掛け、見回 り、メンテナンス、解体作業等）の体験実施。</p> <p>【駆除個体の有効活用事業】 駆除個体の有効活用のための体験。ジビエ肉料理の試食 会や勉強会、草や角を使ったクラフト体験会を実施。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>【野生動物をテーマにした自然体験】</p> <p>森を知り、野生動物への理解を深めるため、シカ角拾いや、アニマルトラッキング等のプログラムを通した自然体験を行う。また自然や狩猟関連の施設の視察ツアーや勉強会などを実施。</p> <p><事業スケジュール></p> <p>2022年度：「狩猟の学校」狩猟（有害鳥獣駆除）に伴う作業体験、環境教育の自然体験を継続的に進め、安定的な事業の推進を図る。</p> <p>また、活動の認知度の向上のため紹介の機会の構築を進める。WEB・SNS等での広報準備を進めることやイベント・展示会などへも出展の可能性を模索する。</p> <p>2023～2024年度：上記事業の継続し、より安定的な活動にしていく。</p> <p>※補助金交付年数：R4年度＝3年間の1年目 （3年間の交付年数経過後は、自主事業で実施継続）</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業参加者数：年間のべ200人 |
| 備 考 | ※事業実施に関する資料（写真等）を添付してください。 |

1 収入の部

| 内 訳 | 決 算 額 |
|-----------|-----------|
| 他の補助金・助成金 | |
| 参加料 | |
| 寄付金・協賛金 | |
| その他（事業収入） | 456,000 |
| 小 計(B) | 456,000 |
| 自己負担金 | 679,493 |
| 合計 | 1,135,493 |

2 支出の部 (単位：円)

| 内 訳 | 決 算 額 |
|--------|-----------|
| 報償費 | 23,000 |
| 旅費 | 15,000 |
| 燃料費 | 132,452 |
| 役務費 | 27,830 |
| 消耗品費 | 449,741 |
| 備品費 | 487,470 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 合計 (A) | 1,135,493 |

※ 収入の合計と支出の合計は一致させること

補助金交付額(G)

| |
|----------|
| 300,000円 |
|----------|

| | |
|--------------------------|--------------------|
| $G = (A - B) \times 2/3$ | ただし、補助金 交付決定額以下 |
|--------------------------|--------------------|

R4(2022)年度北杜市環境保全基金事業活動報告

「八ヶ岳猪鹿鳥」

2023年3月31日 八ヶ岳猪鹿鳥 (代表)佐藤陽介

R4(2022)年度、「八ヶ岳猪鹿鳥」の活動について、以下の通り報告する。

＜森に学び森を守る！「八ヶ岳狩猟の学校」プロジェクト＞ ※実施日および人数等は別紙。

○取組内容：「八ヶ岳狩猟の学校」として、市民および親子向けに参加者を募り、体験事業を実施した。R4(2022)年度は、90近くの事業を実施し、300名弱の参加者への体験を提供できた。また、外部イベント出展やゲスト出演等の機会を複数回設定できたため、リーチ数は880名程度と、より多くの方への体験および普及活動を展開できた。

【狩猟の現場体験】ワナ猟中心の有害鳥獣駆除の実作業（ワナ掛け、見回り、メンテナンス、解体作業等）の体験



【駆除個体の有効活用事業】 駆除個体の有効活用のための体験。(ジビエ肉料理試食会・勉強会・革や角を使ったクラフト体験等)



【野生動物をテーマにした自然体験】シカ角拾いや、アニマルトラッキング等の自然体験



【自然や狩猟関連の施設の視察ツアーおよび勉強会】



【イベントへのゲスト出演、出展】

